



—smile-smile—

スマイルスマイル

令和6年5月発行

第52号

社会福祉法人 園樹会
障害者支援施設 向徳舎
障害福祉サービス事業所
TEL:055-223-2500 FAX:055-223-2501
e-mail:koutokusya@fujisanmail.com
障害福祉サービス事業所 虹の色
TEL:055-223-2510 FAX:055-223-2509
e-mail:nijinoiro@fujisanmail.com
相談支援事業所 With(ウィズ)
TEL:055-223-2503 FAX:055-223-2504
e-mail:soudan.with@fujisanmail.com
共同生活援助 風の音
TEL:055-223-2507 FAX:055-223-2508
e-mail:kazenone@fujisanmail.com
発行者 理事長 塩澤一夫 甲府市向町277

令和6年能登半島地震の発生に伴う職員派遣について

当法人では、全国社会福祉協議会が設置する災害派遣福祉ネットワークからの、令和6年能登半島地震の発生に伴う社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣要請に応じ、令和6年1月19日から24日までの6日間、生活支援員1名の派遣をいたしました。

派遣される施設からの事前の情報では、「施設の空きスペースにて寝袋などで宿泊。施設までの移動手段は車。食事は施設から提供できる（非常食）。近隣にコンビニはありません。」とのことでした。

1月19日、必要と思われるものを車に積み、石川へ向かいました。途中、休憩をはさみながら6時間ほどかけて施設へ到着しました。施設の周りの道路は所々で波打ち、建物の外壁も所々落ちているようでした。建物へ入ると、非常灯などが所々落ちており、廊下などには災害用物資が並んでいました。スタッフルームで非常食の夕食をいただき、宿泊する場所へ案内していただきました。宿泊する場所は、建物の外にあるプレハブで、震災前に工事用に設置したとのことでした。プレハブとはいえ、エアコンも完備されており、段ボールベッドが用意されていました。幸い電気は通電していたので、寒いこともなく過ごすことができました。ベッドも段ボールとはいえ、床で寝ることを想定していたので、思ったよりも快適でした。

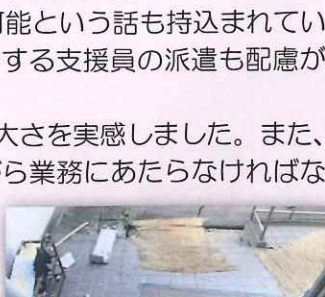
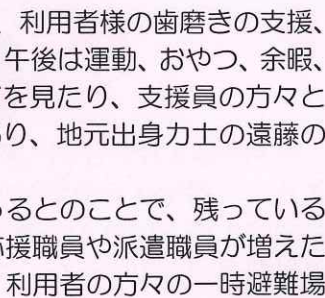
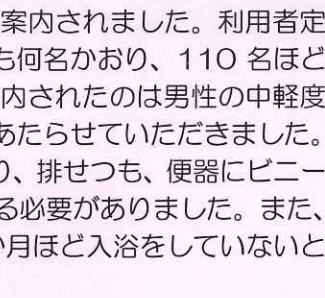
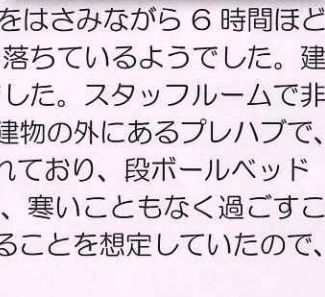
翌日、施設内の被害状況の説明を受けた後、現場へ案内されました。利用者定員は130名とのことでしたが、お正月に帰省した方も何名かおり、110名ほどの利用者の方がいらっしゃるとのことでした。私が案内されたのは男性の中軽度棟で、施設の支援員の方の指示で利用者の方の支援にあたらせていただきました。電気は通っていましたが、水は外に設置された給水車から毎日汲んでくる必要があり、排せつも、便器にビニール袋とパットが設置されており、何回か溜まったら、ビニール袋を新しいものに代える必要がありました。また、12月中旬から年末にかけて新型コロナのクラスターがあり、利用者の方々は1か月ほど入浴をしていないとのこと、この時点で女性棟はまだクラスターの最中でした。

一日の日課は、8時半に出勤すると、前日からのゴミを片付け、水の補充を行い、利用者様の歯磨きの支援、使い捨ての身体拭きで清拭。日によっては運動を行います。12時頃に昼食となり、午後は運動、おやつ、余暇、夕食。という流れです。中軽度棟ということもあり、利用者の方々は居室でテレビを見たり、支援員の方々と話をしたりして過ごしています。ちょうど大相撲初場所が開催されていたこともあり、地元出身力士の遠藤の勝ち負けを報告してくださる方もいらっしゃいました。

施設の職員の方々も被災しており、金沢の2次避難所へ行かれた方もいらっしゃるとのこと、残っている支援員が24時間勤務をしていらっしゃいました。しかし、法人他事業所からの応援職員や派遣職員が増えたことで、24時間勤務は解消されつつありました。また、地震から1か月が過ぎ、利用者の方々の一時避難場所が徐々に決まりつつあり、石川県内の他法人の施設に50名ほどの受け入れが可能という話も持込まれていました。しかし、支援員も同伴とのこと、被災されている支援員も多い中、同伴する支援員の派遣も配慮が必要な状況でした。

移動日も含めて6日間でしたが、改めて、利用者の方々の生活を支えることの重大さを実感しました。また、一旦災害が起きれば、職員自身も被災者となり、それぞれの家族のことも考えながら業務にあたらなければならないことを肌で感じました。

派遣された間の食事はすべて非常食で、トイレや洗面は水を使えず、仕事で汗をかいてもシャワーを浴びることもできませんでした。限られた紙面では、すべてのことを書き記すことはできませんが、被災された職員の方々のご苦労、入所されている利用者の方々の不安など、様々な想いを感じることができ、被災時の施設の課題を感じることができました。



園樹会ニュース

①赤い羽根共同募金 福祉車両購入

令和5年12月に赤い羽根共同募金様より助成金を頂き、福祉車両として車椅子仕様車のヴォクシーを購入いたしました。車椅子を乗せることのできる車両が増えたことで、車椅子を使用している利用者様が通院や外出などに、快適に行くことができるようになりました。



②向徳舎3階改修工事開始

令和6年3月5日(火)より、向徳舎3階(男性棟)の改修工事が始まりました。壁面、ロッカー、扉、トイレ、浴室などの修繕が行われ、5月末に完了予定です。利用者様が快適に安心して生活が行えるよう、今後も環境整備には力を入れていきたいと思ひます。



③JKA 補助事業 機械浴槽導入



令和6年4月27日(日)サテライト双葉で、2024年度のJKA補助事業交付式が行われました。当法人では、向徳舎の機械浴槽の導入のための補助をいただくことになりました。今後、2台の機械浴槽を設置し、利用者様に快適な入浴の機会を提供するとともに、支援員の業務負担の軽減につなげたいと思ひます。

◆苦情・要望について

(受付期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日)

受付期間中に各事業所への苦情・要望はありませんでした。今後とも、利用者・入居者の皆様に安心・安全なサービスの提供を心掛けてまいります。

新利用者様紹介 富田聡さん

令和6年2月に障害者支援施設向徳舎へ入所となりました。

☆好きな食べものはなんですか？
♪雪の宿が好き
☆好きなことはなんですか？
♪音楽を聴くこと
☆向徳舎でどんなことをがんばりたいですか？
♪軽作業で絵ハガキ作りをやりたい



よろしくお願ひします

新職員紹介



中澤 直

(令和6年3月障害者支援施設向徳舎配属) 前職では、障害者支援の仕事をしていました。仕事に早く慣れて、利用者様に寄り添い、支援ができるよう頑張ります！

清水和稀
栗田智子
田中裕輝
芦澤葉子
広報委員会
鈴木将吾
河野真吾
上野史正
酒井幸生

思いに次いで、次号の広報誌も楽しみにしています。広報誌もお楽しみに！

今年も広報誌「スマイル」をお読みいただきありがとうございます。今年も広報委員会が、向徳舎の職員、利用者、入居者の皆様から、様々なお話を聞き取り、編集しました。今年も、向徳舎の職員、利用者、入居者の皆様から、様々なお話を聞き取り、編集しました。今年も、向徳舎の職員、利用者、入居者の皆様から、様々なお話を聞き取り、編集しました。

編集後記



初詣（玉諸神社）・席書き



令和6年1月10日（水）玉諸神社へ初詣に行きました。神社ではお賽銭を入れ、鈴を鳴らしてお願い事をしました。「利用者様の願い事が叶いますように。」が支援員一同のお願い事です。

令和6年1月15日（月）には、席書きをしました。みなさん上手に筆を使って、好きな文字を書いたり、絵を描いています。



節分祭



令和6年2月2日（金）節分祭を行いました。今年の節分祭では、手作りの可愛い鬼に向かって、豆の代わりにボールを投げ入れました。チーム対抗で、玉入れをし赤チームが勝者となりました。

体を動かした後は、豆とお菓子を食べて節分祭を楽しみました。

来年は、どんな節分祭になるか楽しみです♪



お花見

令和6年3月26日（火）玉諸神社でのお花見を予定していましたが、当日はあいにくの雨のために、虹の色の室内に桜の花の貼り絵をたくさん貼って、お花見気分でおいしい昼食を食べました。

午後は雨もあがったので、ドライブを楽しみました。咲き始めた桜を見て「きれいだね。」と話をしました。

翌日の27日は晴れたので、玉諸神社まで散歩をして桜の花をたくさん見る事ができました。

来年のお花見は晴れますように！



「向徳舎初詣外出」



令和6年1月2日～5日に初詣外出に行ってきました。新年が始まり、4班に分かれて玉諸神社に参拝に行きました。暖かい幕開けで、何れの日も参拝日和でした。神社では、利用者様それぞれが、一年の健康や幸せを祈願し、お守りを購入した利用者様もいました。その後は、お待ちかねの買い物タイムです。2日・3日は桔梗屋東治郎で和菓子を選び、ファミリーマートでおやつやジュースを購入してから向徳舎へ戻り、皆でおやつを食べました。4日・5日は参拝の後、ドン・キホーテ石和店に買い物に行きました。福袋や衣料品、髪飾りなど、それぞれが思い思いに買い物を満喫しました。帰り際に、フードコートで大好きなマクドナルドのハンバーガーを食べて向徳舎に戻り、嬉しそうな利用者様の笑顔が印象的でした。



たくさんの笑顔あふれる一年でありますように。



「向徳舎節分」



令和6年2月3日（土）節分祭を実施しました。今年の節分祭は、開催時期の少し前に感染症の流行があったため、感染症対策期間があり活動を行うことができませんでした。そんな中での、利用者様が久しぶりに大きく体を動かす行事となった本行事では、カラーボールを用いた豆まきを行いました。利用者様の顔には活力が満ちており、感染症対策期間中に溜まったストレスの軽減に繋がったと感じています！

鬼は外！福は内♪

